

Ⅱ. 普及活動・行事

1. 社会活動

(千原フィールド)

- 1) 琉大附属小学校2年生春の遠足(施設見学、牛の観察、餌やり)、児童105名(赤嶺ら教職員対応)、4/26.
- 2) ゆいはあと学生によるフィールドセンター見学、学生7名(屋良・村田・茅野対応)、8/19.
- 3) 沖縄マザーズスクエアの農耕車試乗体験、収穫体験、小学生10名(知花ら対応)、8/19.
- 4) 農学部職員のオクラ収穫体験3名(知花・河野対応)、8/23.
- 5) OIST研究員のホサイン研究室見学、7名(ホサイン対応)、8/27.
- 6) フィールドセンターの施設見学と農学部の紹介、東京の高校生ら2名(波平対応)、8/31.
- 7) 大学受験予備校Great Voyage職員によるフィールドセンター見学、予備校講師3名(茅野対応)、9/13.
- 8) 技術職員による支援業務:教育学部音楽棟裏の耕耘、附属小学校の畑の耕耘(屋良対応)、9/13.
- 9) 技術職員による支援業務:附属小学校内の畑の耕耘・畝立て(屋良対応)、9/13.
- 10) 鹿児島大学共同獣医学部の窪田力教授による繁殖牛・育成牛の講習会、波平・屋良、9/21.
- 11) 技術職員による支援業務:附属小学校内の畑の耕耘・畝立て(屋良対応)、9/26.
- 12) 技術職員による支援業務:教育学部音楽棟横ハウス内にて耕耘作業(屋良・赤嶺対応)、9/27.
- 13) National Pingtung University of Science and Technology, Taiwanの教授と学生のフィールドセンター見学、2名(ホサイン・陳 対応)、10/11.
- 14) こぼと保育園のカンショ植付け体験、幼児ら19名(赤嶺・ホサイン対応)、10/19.
- 15) グローバルサイエンスキャンパスの草地畜産実習の講義、高校生7名(波平・屋良対応)、11/2.
- 16) フィールド施設見学(中学・高校教員)、大人2名(波平対応)、11/9.
- 17) 南部地区営農振興センター農産部野菜果実指導課による栽培施設見学(施設園芸グループ対応)、11/14.
- 18) GAPの取り組みに関する畜産グループの視察(農林水産省・沖縄総合事務局・沖縄県・畜産公社)、大人6名(波平・屋良・村田対応)、11/22.
- 19) グローバルサイエンスキャンパスの畜産グループの研究室体験、北谷高校生1名(波平・屋良対応)、11/24.
- 20) 西原町第5回グッジョブにしはらわくわくワーク体験学習(肉用牛飼養)、小学生など13名・大人2名(波平・茅野・屋良・村田対応)、12/1.
- 21) 首里高校生の畜産グループでの職場体験、高校生1名(波平・杉村泰彦対応)、12/5.
- 22) 技術職員による支援業務:附属小学校内の畑の耕耘(屋良・茅野対応)、1/16.
- 23) 琉大附属小学校の月桃葉の収穫体験、1年生109名(赤嶺ら全教職員対応)、1/30.
- 24) 琉大附属中学校1年生の職場体験(ホサイン研究室)、中学生1名(ホサイン・知花対応)、2/7.
- 25) 東京大学農学部長・事務長らフィールド見学、2名(ホサイン対応)、2/10.
- 26) 技術職員による支援業務:附属小学校内の畑の耕耘(屋良・茅野対応)、2/27.
- 27) 琉大附属小学校の黒糖作り体験、3年生103名(赤嶺・屋良・仲村一郎・金城和俊対応)、2/28-3/1.
- 28) 鹿児島大学共同獣医学部の窪田力教授による肉用山羊の講習会、フィールド教職員3名・高校生1名、3/25.
- 29) 畜産グループの施設見学、鹿児島大学共同獣医学部の教員2名(波平対応)、3/26.
- 30) 肉用山羊のフィールド視察、大人3名(波平対応)、3/27.

(与那フィールド)

- 1) 環境省生物多様性センター「モニタリングサイト1000」森林・草原調査コアサイト、環境省生物多様性センター(与那教職員対応、通年).

生物多様性国家戦略に基づき、2003年度から開始された全国1,000箇所程度のモニタリングサイトで長期生態系観測を実施するプロジェクトに参加し、与那フィールドは、森林・草原調査で南西諸島唯一のコアサイト「与那サイト」を運営し、国内における亜熱帯林観測拠点としての役割を担っている。令和元年度は

第3期（2004-2017年度）のとりまとめが行われ、報告書に高嶋助教が2件のコラム「5-1: 台風攪乱後の樹木動態」「6-3: 保全施策への活用事例」を寄稿した。

2) JaLTER (Japan Long-Term Ecological Research Network) コアサイト、JaLTER (与那教職員対応、通年)。

生態学的アプローチを基本に学際的な大規模・長期観測を実施して、社会に対し自然環境、生物多様性などの科学的知見を提供する国内ネットワークに参加している。

3) 奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島世界自然遺産候補地地域連絡会議 沖縄島北部部会、関連機関・団体 (与那教職員対応、通年)。

沖縄島北部の世界自然遺産候補地を適正に管理・保全するための地域部会に参加している。令和元年度は、第1回(7/25)と第2回(2/4)に高嶋助教が出席した。

4) ヤンバルテナゴコガネ密猟防止協議会構成機関、環境省 (与那職員対応、通年)。

国の天然記念物に指定され、国内希少野生動植物種にも該当するヤンバルテナゴコガネの密猟を防ぐため、環境省、沖縄県、国頭村、大宜味村、東村、警察、地元関係機関などから構成される協議会に参加し、パトロールや情報共有に努めている。令和元年度は、9/26 に実施された合同パトロールに上原技術専門職員が参加した。

(内藤重之)

- 1) 国営土地改良事業等再評価技術検討会委員、内閣府沖縄総合事務局。
- 2) 農村振興課関係業務における企画競争案件に関する有識者委員会委員、内閣府沖縄総合事務局。
- 3) 消費・安全対策交付金に係る事業の第三者評価委員、内閣府沖縄総合事務局。
- 4) 沖縄県振興審議会委員、沖縄県。
- 5) 沖縄県農政審議会委員・専門委員、沖縄県。
- 6) 沖縄県卸売市場審議会委員長、沖縄県。
- 7) 沖縄県含みつ糖対策協議会委員、沖縄県。
- 8) 農林水産物の県外出荷拡大に向けた検討委員会委員、沖縄県。
- 9) 沖縄県中央卸売市場運営協議会委員長、沖縄県。
- 10) アグーブランド豚推進協議会流通部会委員、沖縄県。
- 11) 沖縄県普及事業外部第三者評価委員、沖縄県。
- 12) 糸満市六次産業化・地産地消推進戦略協議会委員長、糸満市。
- 13) 沖縄県経営構造対策推進協議会会員、一般社団法人沖縄県農業会議。
- 14) マーケット動向を捉えた農産物プロデュース力強化プログラム実行委員、沖縄県青果卸売協同組合。
- 15) 「6次産業化人材育成活性化事業」事業推進委員会委員、(株)アール・ピー・アイ。
- 16) おきなわ島ふ〜どグランプリ審査委員長、(株)アール・ピー・アイ。
- 17) 中央卸売市場機能のあり方に関する調査事業委員会委員長、沖縄協同青果(株)。
- 18) 沖縄協同青果株式会社第三者委員会委員長、沖縄協同青果(株)。
- 19) 日本農業市場学会理事 (学会賞選考委員)、日本農業市場学会。
- 20) 食農資源経済学会常務理事 (学術交流・広報理事) 兼地区理事、食農資源経済学会。
- 21) 沖縄農業経済学会理事、沖縄農業経済学会。
- 22) 農業理論研究会事務局 (庶務担当)、農業理論研究会。

(Md. Amzad Hossain)

- 1) Weed Biology and Management 編集員、レフリー、Weed Science Society of Japan.
- 2) Acta Oecologica レフリー、Acta Oecologica.
- 3) Journal of Herbs, Spices & Medicinal Plants レフリー、Journal of Herbs, Spices & Medicinal Plants.

- 4) Plant Production Science レフリー、Crop Science Society of Japan.
- 5) Weed Science Society of America 国際会員、レフリー、Weed Science Society of America.
- 6) Tropical Agriculture and Development レフリー、Japanese Society for Tropical Agriculture.
- 7) LWT-Food Science and Technology レフリー、LWT-Food Science and Technology (Elsevier).
- 8) Mycopathologia, レフリー、International Union of Microbiological Societies (Springer)
- 9) 株式会社トライ・ディー、ウコン商品開発コンサルタント
- 10) OIST, Research Mentor

(赤嶺 光)

- 1) 日本芝草学会評議員、日本芝草学会.
- 2) 沖縄園芸福祉協会会長、沖縄園芸福祉協会.
- 3) 日本園芸福祉普及協会理事、NPO 法人日本園芸福祉普及協会.
- 4) 技能検定委員 (造園工事作業3級)、沖縄県職業能力開発協会.
- 5) 亜熱帯緑化事例発表会審査委員会委員、沖縄都市緑化実行委員会.
- 6) 外来植物防除対策有識者委員会委員、沖縄県.
- 7) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業企画提案選定委員会委員、沖縄県.
- 8) 沖縄総合事務局「道路緑化アドバイザー」、内閣府沖縄総合事務局.
- 9) 沖縄の道路緑化のあり方に関する検討会委員及びワーキング会議委員、一般社団法人沖縄しまたて協会.

(陳 碧霞)

- 1) 日本海岸林学会事務局、日本海岸林学会.
- 2) Sustainability, Review Board Member, the Journal Sustainability (SSCI).
- 3) Urban forestry and Urban Greening レフェリー、the Journal Urban forestry and Urban Greening (Elsevier, SSCI) .
- 4) Forests レフリー、the Journal Forests.

(高嶋敦史)

- 1) 沖縄県国土利用計画審議会委員、沖縄県.
- 2) 日本生態学会九州地区会委員、日本生態学会.
- 3) 九州森林研究編集委員、九州森林学会.
- 4) モニタリングサイト 1000 森林・草原調査分野：与那サイト・屋久島スギ林サイト代表者、環境省生物多様性センター.
- 5) JaLTER (Japan Long-Term Ecological Research Network) 運営委員・情報管理委員・代表者委員、JaLTER.
- 6) 沖縄島北部森林生態系保全管理検討会委員、プレック研究所 (林野庁補助事業).
- 7) 公開森林実習運営委員、全国大学演習林協議会.
- 8) 北海道大学北方圏生物フィールド科学センター森林圏ステーション共同利用協議会委員、北海道大学北方圏生物フィールド科学センター森林圏ステーション.

(波平知之)

- 1) 沖縄県立農業大学校、非常勤講師 (草地管理) .
- 2) 沖縄県立農業大学校、非常勤講師 (飼料作物：屋良朝宣 技術専門職員) .
- 3) 公益財団法人沖縄畜産振興公社、非常勤畜産コンサルタント (飼料) .
- 4) 沖縄畜産研究会編集幹事、沖縄畜産研究会.
- 5) 日本暖地畜産学会幹事、日本暖地畜産学会.
- 6) 南九州における畜産業の生産性向上に関する研究ネットワーク構成員、鹿児島大学共同獣医学部.

2. 講演・普及等

(内藤重之)

- 1) 第4回「農水産業支援技術展」沖縄 セミナー「青果物の需給動向と多様な流通への対応」沖縄コンベンションセンター、25名、6/20.
- 2) 「平成30年度 食料・農業・農村白書説明会：農林水産省大臣官房広報評価課」農学部世話役（農学部209教室）42名、7/16.
- 3) 和歌山大学学部開放授業・JA わかやま寄付講義「食と農のこれからを考える」（地方創生と農の6次産業化）和歌山大学、140名、10/15.
- 4) 九州青果卸売会社連合会講演会「島嶼における園芸産地の出荷対応」、20名、11/11.
- 5) 第17回ワークショップ in 千原（琉球大農場祭り）のミニ講座「野菜と果物の流通について」、約20名、12/7.

(Md. Amzad Hossain)

- 1) 沖縄本島のウコン栽培農家と組合に対する実地・技術指導（通年、年間2-5回程度）.
- 2) 県内外の企業へ商品開発に係る指導・助言（通年、年間10-15回程度）.

(赤嶺 光)

- 1) 「ジャパンハーブソサエティー沖縄支部ハーブ祭り・手作りワークショップ」沖縄県営中城公園（北中城村）約25名、7/6.
- 2) 「コーヒー豆の産地化を目指す沖縄コーヒープロジェクト-継続的な栽培の確立に向けて-」沖縄経済同友会地域・経済活性化委員会（那覇市）22名、10/31
- 3) 「第15回わくわくりサイクルまつり・エコな体験はっぱ工作」浦添市リサイクルセンター（浦添市）約25名、11/17.
- 4) 「沖縄における除草剤を用いた路傍雑草管理への取り組み～沿道景観向上技術ガイドラインについて」宇都宮大学第4回市民公開シンポジウム（宇都宮市）約60名、11/29.
- 5) 「黒糖づくり体験」琉球大学附属小学校3年生（西原町）103名、2/28.

(陳 碧霞)

- 1) 「生態環境保護の視点から見た日本の農村観光に関する研究」宝鶏文理学院観光学部（中国西安）、約80名、5/5.
- 2) 「Conservation of coastal forest for island resilience」International Summer Course Ibaraki University-Bogor Agricultural University、ボゴール農業大学（インドネシア・ボゴール）約50名、8/26.
- 3) 「Tourism's impacts on resilience of rural Japan」ボゴール農業大学（インドネシア・ボゴール）Center for Regional Systems Analysis Planning and Development、約40名、9/3.
- 4) 第17回ワークショップ in 千原（琉球大農場祭り）のミニ講座「フクギ並木と沖縄の昔ながらの住居」、約20名、12/7.

(高嶋敦史)

- 1) 「野外実習」沖縄県立総合教育センター（与那フィールド）8名、5/16.
- 2) 「ワイルドライフ『世界遺産 屋久島 伝説の巨大杉を探せ!』」制作協力・出演、NHK-BSプレミアム、1/27放送.

(波平知之)

- 1) 農業改良普及員を対象にした草地管理機械の技術研修会（千原フィールド）、県庁職員3名、8/2（講師：波平・茅野・屋良・村田・比嘉・安里）.
- 2) 北部農林・南部農林高等学校の総合学習（沖縄畜産研究会と合同開催、千原フィールド）55名、9/20（波平・赤嶺）.
- 3) 山羊農家を対象にした暖地型牧草地の草地管理の技術講習会（千原フィールド）、農家5名、10/31.



写真Ⅱ-1 農業改良普及員の技術研修(左)、グローバルサイエンスキャンパスの授業(中央)、第17回農場祭りでの内藤センター長によるミニ講座(右)

3. 委員会等

令和元年度にフィールド教職員が参加した琉球大学内の各種委員会を表Ⅱ-1に示した。内藤センター長(副学部長)は、農学部内の代議会を始めとした8委員会と全学の3委員会の委員を担当し、フィールド科学センター、農学部および全学の運営に参加した。その他の教員についても、前年と同様に農学部の運営にも積極的に参加した。

全学においては、障がい学生支援室運営委員会に赤嶺准教授が、琉球大学安全衛生委員会(千原事業所)には河野技術職員が、動物実験委員会に波平助教が委員として学内の運営に参加した。なお、フィールド科学センターは産業動物の飼養保管施設として動物実験委員会(学長)に令和2年3月に承認された。

表Ⅱ-1 フィールド教職員が参加した琉球大学の各種委員会など

	名称	氏名	委員長	任期(年)	開催回数	参加回数
農学部	代議会	内藤重之(センター長)	和田浩二	1	11	11
	人事委員会	内藤重之(センター長・副学部長)	和田浩二	1	10	10
	将来計画委員会	内藤重之(副学部長)	和田浩二	2	0	0
	自己評価委員会	内藤重之(センター長)	中村真也	2	1	1
	中期目標・中期計画推進会議	内藤重之(センター長)	中村真也	1	0	0
	研究戦略会議	内藤重之(センター長)	中村真也	2	12	12
	予算委員会	波平知之	水谷治	2	2	2
	教育委員会	ホサイン	中村真也	2	10	7
	入学試験委員会	赤嶺光	鹿内建志	2	9	7
	図書運営委員会	ホサイン	平良英三	1	0	0
	広報委員会	赤嶺光	杉村泰彦	2	3	2
	学術報告編集委員会	波平知之	亀山統一	2	1	1
	研究圃場運営委員会	赤嶺光	嬉野健次	1	1	1
	安全衛生委員会	赤嶺光	金城和俊	2	0	0
	地域貢献支援委員会	内藤重之(副学部長) 陳碧霞(センター)	内藤重之	2	4	4
	国際交流委員会	陳碧霞	瀬戸内秀規	1	3	3
	環境・交通・施設等委員会	高嶋敦史	嬉野健次	1	0	0
	研究科委員会	内藤重之(副学部長) ホサイン 赤嶺光 陳碧霞	和田浩二	1	9	9
	連合大学院農学研究科代議員	ホサイン	初井和朗	2	13	12
	農学部本館回収計画検討WG委員	ホサイン	酒井一人	2	12	8
	エコアクション21行動計画 行動計画担当	波平知之(センター)	-	1	0	0
	エコアクション22行動計画 安全管理担当	高嶋敦史(センター)	-	1	0	0
エコアクション23行動計画 学生指導担当	陳碧霞(センター)	-	1	0	0	
全学	障がい学生支援室運営委員会	赤嶺光	古川卓(理)	2	4	4
	琉球大学安全衛生委員会(千原事業所)	河野雅史	福治友英(理事)	2	11	11
	琉球大学地域連携推進会議	内藤重之	牛窪潔(理事)	2	3	2
	琉球大学社会連携に関する自己点検・評価委員会	内藤重之	牛窪潔(理事)	1	2	1
	琉球大学ダイバーシティ推進本部	内藤重之	井上章二(理事)	2	1	1
	ラオスサテライトオフィス運営部会	陳碧霞	小林潤(医)	2	2	2
	動物実験委員会	波平知之	高山千利(医)	3	6	5

4. 行事等

(千原フィールド)

1) エコクリーンデー（全学一斉清掃）（令和元年5月15日）

全学一斉清掃のエコクリーンデーに教職員12名が参加してフィールド科学センターの事務室、畜産部周辺、山羊舎周辺、学生室周辺、園芸施設周辺の雑草刈り、芝刈り、樹木の剪定等の環境整備を行った。

2) 琉球大学オープンキャンパス（令和元年7月13日）

高校生を対象にオープンキャンパスが開催され、フィールド科学センターでは亜熱帯地域農学科農林共生科学分野として農学部201教室で研究室等の紹介と展示を行い、その後の研究室体験イベントではフィールド号を用いた圃場見学とフィールド畜産グループでの研究室の体験学習を、午前と午後の2回に分けて実施した。体験学習には県内外の高校生46名が参加した。

3) 第17回ワークショップ in 千原（琉球大農場祭り）（令和元年12月7日）

2年ごとに実施する農場祭りが千原フィールドにて13時から16時（受付12時30分）まで開催され、フィールドにおける活動紹介、施設・圃場見学、収穫体験などを通して多くの地域の方々と触れ合う貴重な時間を持つことができた。開催に際し、1ヶ月前から琉球大公式HPの掲載によって広報活動を行った。

令和元年度の施設公開において学生実習準備室では、フィールド研究の成果ポスター、琉球政府時代の農業普及活動の写真、農学部広報ポスターの展示を行い、また、内藤重之センター長と陳碧霞准教授によるミニ講座を開催した（写真Ⅱ-2）。千原農場では、牛・豚・肉用山羊とのふれあい体験、農業機械の展示と試乗体験、さとうきびジュースの搾り体験、フィールド号でのフィールド案内、ハーブティー作り、草玩具づくり、野菜販売を行った（写真Ⅱ-3）。上原研究園では、樹木の葉の分類方法の講習会を開催した。

今回の農場祭りは雨天にも関わらず、185名（大人93名、子供61名）の参加者があり、歴代で2番目に多い参加者数となった。参加者の内訳は本学職員17名（9%）、本学学生14名（8%）、一般大人93名（50%）、一般子供61名（33%）の参加があった。



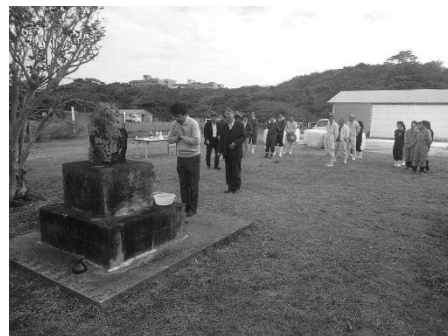
写真Ⅱ-2 第17回農場祭りでのハーブティー作り(中央)と上原研究園での樹木講座(右)



写真Ⅱ-3 第17回農場祭りでの草玩具作り(左)、サラダ菜収穫体験(中央)、家畜とのふれあい(右)

4) 第12回千原フィールド畜魂祭(令和2年2月19日)

琉球大学農学部フィールド科学センターでの第12回目となる畜魂祭と草刈清掃作業を実施した(写真Ⅱ-4)。畜魂祭に先立ち、フィールドから波平助教、安里昌弘技術専門職員、屋良朝宣技術専門職員、村田正将技術職員、茅野太紀技術職員、畜産エリアを利用する亜熱帯地域農学科動物生産科学分野の江藤毅助教、亜熱帯農林環境科学科の佐々木真二准教授、長嶺樹助教、動物共生学研究室の4年生3名(鈴木・金城・玉城)と3年生3名(嶺井・太田・川末)の合計14名の協力を得て鶏舎と山羊小屋周辺の草刈り・清掃作業を実施した。



写真Ⅱ-4 教職員学生が参加した畜魂祭

畜魂祭では清掃参加者に加えフィールドから内藤センター長、赤嶺次長、大兼一夫係長、比嘉辰雄技術専門職員、新垣美香技術専門職員ら、学部からは和田学部長、城間事務長ら合計25名の参加で、豚舎横の畜魂碑前で波平助教の祈願文や全員による焼香などが執り行われた。

(与那フィールド)

1) 辺土名高校環境科宿泊学習(令和元年6月6~7日)

環境科の2年生15名と引率教諭8名が参加した。1日目は、夜にYambaru Greenの協力のもと生物観察を行った。2日目は午前中に森林内で樹木の直径・樹高調査を体験し、午後に振り返り学習を行った(写真Ⅱ-5)。



写真Ⅱ-5 与那フィールドでの樹木調査